



11/11
since 1940

学校法人 行吉学園 80周年記念誌

80th
Anniversary

学校法人 行吉学園

神戸女子大学
神戸女子短期大学
神戸女子大学附属 高倉台幼稚園

須磨キャンパス	大学院／文学部／家政学部 〒654-8585 神戸市須磨区東須磨青山2-1
ポートアイランド キャンパス	大学院／健康福祉学部／看護学部／短期大学 〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2
三宮キャンパス	神戸女子大学 教育センター 〒654-0004 神戸市中央区中山手通2-23-1

Tel.078-303-4700 (代表)
<https://www.yg.kobe-wu.ac.jp/>





二代長谷川貞信「摂州神戸海岸繁栄之図三枚続」 神戸市立博物館 Photo:Kobe City Museum/DNPartoom

神戸に生まれ 神戸とともに。

行吉学園の八十年

神戸港開港は、一八六八（慶応三）年一月一日のこと。この年の十月に時代は明治へと移りまさに近代の幕開けとともに神戸の文化が育まれていきました。各国の船が行き交う神戸港周辺には外国人居留地が形成され登山・ゴルフ・映画・水族館・パーマヘアなど日本初の新しいライフスタイルを次々に取り入れてアジアの最先端都市へと成長していきます。

一九四〇（昭和一五）年、そんな神戸の背中を追うように行吉学園のルーツとなる神戸新装女学院が現三宮に誕生します。女性の自立と社会貢献を願う行吉哉女の、最初の一步でした。神戸で貿易商を営んでいた初代理事長行吉國晴も「国際港都神戸の地域的特性を鑑みて——」と女子教育の場としての神戸を高く評価しています。

一方、神戸には日本最古の神社のひとつである生田神社があり平安時代から源氏物語や和歌の歌枕に登場する須磨もあります。日本古来の伝統文化を受け継ぐ側面も併せ持っているのです。須磨にもキャンパスを広げ、生田神社と深いご縁を紡ぎながら神戸女子大学に四学部一〇学科と大学院を、神戸女子短期大学に三学科を擁する総合的な教育・研究機関へと発展しました。

昭和から平成へ、そして始まったばかりの令和へ。歩み続けた行吉学園は、今年創立八〇周年を迎えます。神戸に生まれ、これからも神戸とともに。輝く未来へと女性が巣立つための挑戦を続けてまいります。



開港当日の神戸港



完成間もない兵庫突堤



国産波止場棧橋

一般財団法人 神戸観光局 提供

神戸新装女学院の創立



昭和16年には神戸市神戸区(現中央区)中山手通2丁目23-1に神戸新装女学院を移転した

教育界へと導いた 父の薫陶と担任教員への憧れ。

行吉学園の原点となるのは一九四〇(昭和一五)年に創立された神戸新装女学院です。

創設者の行吉哉女、旧姓大森哉女は、一九〇三(明治三六)年に岡山県岡山市東区(旧上道郡玉井村)に、父大森喜代三、母松の次女として誕生しました。喜代三は東京で勉学に励んだ後に郷里で呉服商を営み、村会議員も務める篤志家でした。父から教わった古今東西の名言・格言を毎日暗誦することが、哉女の精神的支柱を築いていったのです。また小学生時代の担任教員である松島花に尊敬と憧れを抱き、教師になることを夢見るようになります。

しかし、父は師範学校への進学を反対しました。それでも教師への夢は絶ちがたく、瀬戸高等女学校在学中に猛勉強し、小学校訓導の資格を取得。玉井小学校で教職に就き、さらに師範学校・高等女学校の裁縫科の教員免許も取得して瀬戸高等女学校の教諭となるのです。

女子教育による 女性の自立を。 行吉哉女の 揺るぎなき志。

夫國晴の協力と支援を受け 生徒七名の学び舎として出発。

一九二七(昭和二)年、哉女は瀬戸高等女学校教諭を退職し、行吉学園のもう一人の祖である行吉國晴と結婚します。神戸に居を移し、一九二九(昭和四)年から九年間、神戸市内の尋常小学校の訓導を歴任しています。この頃から哉女は洋裁学校開設を考え始めていました。訓導退職後は神戸市で國晴の貿易商の仕事を手伝っていました。何でもいいから自分の仕事をしてみては」と國晴に言われ、洋裁学校設立を提案したのです。

國晴から快諾を得た哉女は、さらに本格的に洋裁を学ぶために一九三九(昭和一四)年に単身上京。東京文化服装学院の「専検」に入学し、半年で課程を修了します。

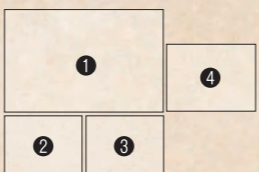
創立当初の生徒はわずか七名でしたが、翌年の第一期卒業生は本科・師範科・速成科・夜間部あわせて百名に、第二期卒業生は一七三名と、経営的には順調な滑り出しとなりました。設立翌年の一九四(昭和十六)年三月、空き家となっていた外国小学校を借り受けて移転。薄緑色の二階建木造校舎があった場所は現三宮キャンパスに相当します。

戦禍をくぐり 洋裁ブームへ。

一九四二(昭和一七)年十二月八日、日本は太平洋戦争に突入します。当時の女性にとって裁縫技術の習得は「物資不足の中で衣服を自己調達する技能の獲得」「戦争未亡人を含む女性の自立」「生産活動を通じた社会貢献」という大きな三つの実現を意味します。これは、教育による女性の自立と、社会で活躍する人材育成という哉女の願い

と重なるものでした。

戦局押し詰まる一九四五(昭和二〇)年六月五日、神戸大空襲により校舎は全焼し、教員一名が尊い犠牲となりました。終戦後には衣服製作や仕立て直しのニーズがそれまで以上に高まり、洋裁ブームが起きます。一九四六(昭和二一)年度の卒業生は五〇六人と激増。洋裁学校の役割は重要性を増していきます。



- ① 第2回卒業式
- ② 朝香宮鳩彦殿下が新装女学院を視察。恩賜財団法人援護会の委託生に激励のお言葉を賜る
- ③ 昭和20年前後の新装女学院での授業
- ④ 昭和34年当時の行吉夫妻



神戸女子短期大学と 神戸女子大学の創立



日本最初の短期大学の一枚として
より高度な女子教育をめざす。

戦後の復興と
経済成長に歩を揃え
広がりゆく
女子教育の可能性。



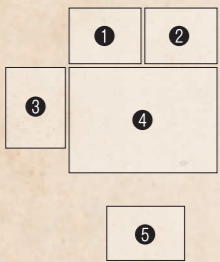
空襲で焼失した神戸新装女学院の校舎を再建した行吉國晴・哉女夫妻は、戦後復興という時代の流れの中で新たな道を摸索していました。終戦以降一九五四(昭和二九)年まで入学者は減少することなく、神戸新装女学院の経営は極めて順調でしたが、一九四七(昭和二二)年に

交付された学校教育法に基づく新しい教育制度の発足に伴い、より高度な女子教育機関をめざそうと動き始めたのです。行吉夫妻は、服装製作の技術や知識の習得のみならず「婦徳の涵養」を教育理念としていました。短期大学の設立は教育理念の実現にさらに近づく

ものだったのです。一九五〇(昭和二五)年、日本最初の短期大学二四九校のひとつとして神戸女子短期大学服装科が誕生し初代学長に行吉哉女が就任。九五(昭和二二)年には法人組織も学校法人行吉学園に変更され、初代理事長に行吉國晴が就任しました。



① 開学当時の授業風景
② 昭和55年の神戸女子短期大学山本寮(旧キャサリン邸)
③ 昭和22・23年ごろの神戸女子短期大学寮生



① 昭和42年、神戸女子大学須磨キャンパスでの入学式
② 建設中の須磨キャンパス
③ 昭和42年に神戸女子大学須磨キャンパス文学部棟(A館)が竣工
④ 昭和31年に来日したヘレン・ケラー女史に服を縫って贈呈
⑤ 昭和48年、高倉台幼稚園開園記念式と入園式

復興と成長の気運が 女子教育の追い風に。

一九五〇(昭和二五)年の六月には朝鮮戦争勃発による特需景気で戦後経済が回復に向かい、翌一九五(昭和二六)年九月にはサンフランシスコ講和条約が締結されてGHQによる統治が終わり、さらなる発展に向かうとされていた時代は、女性が新たなチャレンジを試みる時代でもあったのです。その意志に込めるかのような行吉國晴の言葉が一九四九



女子進学率の上昇に 須磨の地に四年制大学を創設。

(昭和二四)年の短期大学認可申請提案に関する理事会決議録に記されています。「先ず服飾美学を背景とする科学的且つ実用的課程を中心として『服装科』を設け、後年、機運の熟するをまって漸次『家政科』及び『文芸科』の増設を期したい」――これらは着実に

に実現されていきます。一九五三(昭和二八)年一月に家政科を設置し、その後栄養士養成施設認可、初等教育科の設置を実現します。短期大学の運営が軌道に乗った一九五四(昭和二九)年、行吉哉女は短期大学学長を務めつつ、京都女子大学家政学部にも編入学します。

区青山に家政学部だけの単科大学として神戸女子大学が開学しました。一九六九(昭和四四)年には新たに文学部を設置し、文学科国文学専攻、同英文学専攻、史学科、教育学科の四学科を設けます。学生数は挙に増加し、卒業生数は家政学部のみの第一期四六名から、定員増を経て一九七七(昭和五二)年には六四二名を数えました。

哉女は一九五六(昭和三一)年に京都女子大学家政学部を卒業します。学究のみならず、四年制の女子大学を自ら経験して最高学府設立に備えるという側面もあったのです。卒業後には渡仏して海外の女子教育事情を視察し、帰国後は京都府立医科大学の栄養生理分野で医学博士の学位をも取得。このプロセスで培った人脈が短期大学・大学・大学院の充実にも活かされています。

また一九七三(昭和四八)年には、神戸女子大学附属高倉台幼稚園を開設。学生の教育実習の場にもなっています。

大学院の拡充とP I キャンパス竣工 阪神大震災を乗り越えて



平成3年4月26日新学舎(ポートアイランド)の上棟式

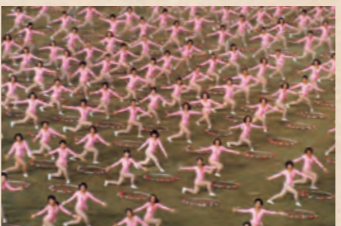
ポートアイランドに新学舎竣工。 神戸女子短期大学を移転。

一九八二(昭和五六)年、神戸ポートアイランド博覧会が開催され、国際都市神戸は存在感を増していきます。

一九八五(昭和六〇)年には、その後の国際スポーツ大会のモデルとなる第三回夏季ユニバーシアードが開催されました。開会式・閉会式には神戸女子大学・神戸女子短期大学の学生が参加出演しました。特に閉会式には、五つのクラブと一般学生から六〇〇名の学生が参加し、厳しい練習を経てマスメーム「世界の花園」を成功させ、会場を沸かせました。

こうした国際化の波を受けて学びの地に選ばれたのが、神戸初の人工島・ポートアイランドです。一九八七(昭和六二)年に、神戸女子短期大学総合グラウンドをポートアイランドに竣工。一九九〇(平成二)年には神戸女子短期大学新学舎の起工式を挙行します。同年二月の行吉学園創立五十周年記念式典も、ポートアイランドのワールド記念ホールとポートピアホテルで開催されています。

二年後の一九九二(平成四)年、神戸女子短期大学は新学舎に移転しました。



ハワイ、瀬戸、 ポートアイランド。 新しい学びの 環境づくりへ。

行吉哉女が新理事長に。行吉誠之副理事長と新たな挑戦へ。

一九七九(昭和五四)年二月に行吉哉女が理事長に就任し、行吉誠之副理事長との新体制で八〇年代を迎えます。

神戸の地で専門学校・短期大学・四年制大学・大学院と発展してきた行吉学園が、次に注目したのは海外でした。一九八〇(昭和五五)年にハワイのカイルアに土地・建物を購入し、最初のセミナーハウスとしたのです。同年二月に神戸女子大学文学部文芸科英文学専攻の学生二四名がハワイ大学での第二回海外派遣研修を体験します。一九八三(昭和五八)年にはハワイ大学との姉妹校提携が締結されました。

大学院の拡充を図り最高学府の水準に到達。

行吉哉女理事長の故郷である岡山県赤磐郡瀬戸町(現岡山市東区)は、高等教育機関の誘致を望んでいました。この要請に応え、一九八九(平成元)年に神戸女子大学瀬戸短期大学を開設。充実した設備・施設と少人数制教育、神戸女子大学への編入の道もあり、多くの学生が学びました。また生涯学習の場として地域に開かれた場でした。

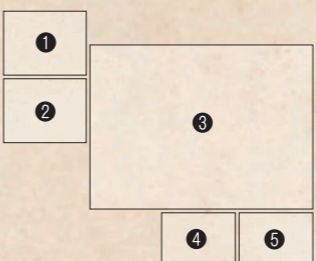
また、一九八四(昭和五九)年に神戸女子大学大学院家政学専攻(健康栄養学専攻)の四課程を設置してから、二〇一九(平成三二)年に看護学専攻(看護学専攻(博士課程前期・後期)の設置に至るまで、順次

大学院の拡充を図りました。その結果、看護学研究科(看護学専攻)、文学研究科(日本文学専攻・日本史学専攻・英文学専攻・教育学専攻)、家政学研究科(食物栄養学専攻・生活造形学専攻)、健康栄養学研究科(健康栄養学専攻)の四研究科八専攻のうち七専攻が博士後期課程を有し、また学校教育学専攻科も開設されました。研究設備や教員構成を含め、学園は学術研究の場として最高学府の水準に到達したのです。



平成元年、神戸女子大学瀬戸短期大学開学

- 1 平成4年4月神戸女子短期大学がポートアイランドの新学舎に移転
- 2 昭和61年米国ヴァージニア訪日使節団が須磨キャンパスへ
- 3 昭和60年9月ユニバーシアード神戸大会が開催され、神戸女子大学及び神戸女子短期大学の学生が開会式と閉会式に参加
- 4 昭和60年9月ユニバーシアード神戸大会の閉会式マスメーム「世界の花園」で学生600人が演技
- 5 平成4年4月ポートアイランドキャンパス竣工記念ファッションショー



①ポートアイランドクリーン作戦の様子
②ポートアイランドキャンパスにD館竣工
③被災した三宮キャンパスの解体工事
④⑤平成7年阪神淡路大震災で三宮キャンパスが基大な被害

阪神・淡路大震災を経て 社会福祉学科を開設。

一九九五(平成七)年二月十七日午前五時四六分、震度七という未曾有の「阪神・淡路大震災」が発生しました。誠に悲しいことに、本学の二名の女子大生が下宿の倒壊によって尊い命を失っています。三宮学舎は一棟が全壊。一方ポートアイランドキャンパスは液状化現象に見舞われるなどしたものの倒壊はありませんでした。授業再開はライフラインなどが復旧する三月二二日から、それまでに多くの学生がボランティアに取り組みました。この年は「ボランティア元年」と呼ばれていますが、自ら行動して人や社会とつながるボランティア活動は、現在の社会や地球との連携事業として受け継がれています。

震災の翌年となる一九九六(平成八)年、建学の精神である「人間尊重と国民福祉の増進」を基本理念として文学部に社会福祉学科が開設されました。開設時は社会福祉士養成のみでしたが、社会福祉制度や福祉改革、介護保険制度の導入などで、資格を持つ福祉人材の確保が求められるようになってきました。それまでは介護系人材の育成は専門学校や短期大学が中心でしたが、広い視野を持つリーダー的専門職が望まれるようになったのです。

健康福祉学部健康福祉学科への改組を経て、二〇〇九(平成二二)年には同学部社会福祉学科に改称。社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士に取得可能資格を特化し、社会の高齢化でニーズの高まる福祉人材を送り続けています。

沿革―挑戦期

健康スポーツ栄養学科と 看護学部の開設

理事長の元、「教職協働・一致団結」で 定員割れからの逆転劇へ。

二〇〇二(平成一四)年、二代目行吉哉女理事長の退任に伴い、前兵庫県知事の貝原俊民が三代目理事長に就任しました。そして将来のグローバル化を見据え、文学部に神戸国際教養学科(現・国際教養学科)とポートアイランドキャンパスに健康福祉学部を設置しました。しかし、十八歳人口は一九九二(平成四)年をピークに減少傾向となり、その影響が神戸女子大学にも及ぶようになり、二〇〇四(平成一六)年度に七、四七名あった大学の志願者数は、二〇〇七(平成一九)年度には四、二六九名まで低迷し、神戸女子大学としては初の入学定員割れとなります。このような状況の中で、

三代目理事長からバトンを受け、二〇〇六(平成一八)年に四代目理事長に就任したのが創設者の流れを組む行吉誠之でした。四代目行吉誠之理事長は、より円滑でスピード感のある意思決定を実現し、学生にきめ細かで手厚い教育とサービスが行き届くように、事務組織を大きく改編し、教員と職員が一体になるよう「教職協働」の実現に取り組みました。その上で起死回生の策として取り組んだのが「神女ブランド」戦略です。神女の魅力を改めて見つめ直し、めざすべき神女生のイメージを構築。入試制度を根本的に見直し、ブランディングに沿って周知徹底を図ります。

健康スポーツ栄養学科CMに バレエの高橋選手を起用。

新戦略の最初の成果は、二〇〇九(平成二二)年の健康スポーツ栄養学科の開設でした。「健康な身体づくり」という新しいコンセプトを持つ学科の魅力を伝えるために、人気絶頂だったバレエボール全日本代表の高橋みゆき選手をテレビCMに起用。初年度入試では定員六〇名に対し倍率二二・二倍。志願者二、三三三名を集めるほどの反響を呼びました。

「神女ブランド」の 構築により 少子化時代に 志願者数大幅増へ。



平成24年 TVCM「羽篇」



平成23年 TVCM「キャンパス篇」



①すいか祭
②平成21年4月ポートアイランドキャンパス体育館竣工
③平成27年4月ポートアイランドキャンパスF館竣工

女性活躍のための学びを。 原点を継承し、前へ。

「本気で学ぶ大学」の評価が定まり
看護学部の入学難易度は西日本トップに。

健康スポーツ栄養学科が誕生した二〇〇九(平成二二)年度入試では、大学全体でも六四六五名まで志願者が回復し、二〇二(平成二三)年度には七六四二名まで増加しました。志願者増加による入試倍率の向上で、入学偏差値も大幅に上昇し、優秀な学生が全国から集まるようになります。すでに二〇〇六(平成一八)年度の管理栄養士の国家試験合格率は関西私大トップの九八・二%をマークしており「管理栄養士なら神女」と目されてきた時期だったため、「本気で学ぶ大学」として、神戸女子大学への評価が定まっていきました。

この流れの中で二〇一五(平成二七)年に看護学部看護学科が誕生します。神戸女子大学・神戸女子短期大学では家政・栄養から教育、文学、福祉など女子大学として女性の特性を活かし「女性が社会で活躍するための学び」を創設してきました。そういう意味で看護学部を設置することは必然でした。初年度入試では定員八〇名に対して一般入試前期の倍率は九・三倍以上、全体で二〇五三名の志願者を集めます。その翌年の全国統一模試での入学難易度が私立大学では、西日本エリアで二位となり、最も入学の難しい看護学部のひとつとなりました。



常に時代の流れ、社会の声に耳を傾け、チャレンジを続けることによって、新たな道を切り拓き、多くの共感を集める。逆境をもプラスへと転換していくこの姿勢は、行吉哉女が父の反対を押し切つて教員をめざした時から、行吉学園に脈々と受け継がれるスピリットといえるでしょう。

平成から令和に学園をつなぎ 五代目行吉宜孝理事長による新体制へ。

関西に一九ある女子大学の大部分は高等女学校に端を発しています。一方、神戸女子大学は「戦災未亡人の職能獲得」「女性の自立」をめざして専門学校からスタートしました。女性の活躍に二層の期待が集まる現代において、創立八〇年を経た行吉國晴・哉女夫妻の先見性はより際立って見えます。

平成も残り一ヶ月となった二〇一九(平成三三)年四月、栗原伸公が新学長に、行吉宜孝が五代目理事長に就任しました。若きリーダー体制により、令和の時代は神戸女子大学・神戸女子短期大学とその学生にとつてきつと輝かしいものになる――行吉学園に関わるすべての人たちの願いです。



中期計画

学生の能力を伸ばし
最大限に支援できる
しくみを

自立心・対話力・創造性の三つを備えた女性こそ、自らの個性を発揮しつつ社会に貢献できる女性像であると行吉学園は考えています。中期計画では、この三つのポリシーを強化するためのしくみづくりを全学的に推進していきます。

教育内容においては、身につけるべき能力を検証するための指標を開発し、達成に向けたカリキュラムの開発・精査・改編を行います。教育課程に関しては、ナンバリングを利用した履修指導や体系的な学習を進め、教育方法については授業アンケートを充実させ、教育支援ツールの活用も推進します。

また、派遣・受入双方の留学生を増やして国際化を推進し、地域や企業との連携事業もさらに充実させます。教員・学生の研究を活性化させるため、研究費に関する情報収集や支援制度の整備も行います。進路に関しても、満足度や離職率に関する調査を導入して指標化し、優良企業・公務員・Uターン就職志望者などの専門就職の支援体制をさらに強化していきます。



私は何かしようと思ったらず
ただ一途にやります。
一所懸命やって、
それができたら
「ああよかった」と思って、
また次のことを考えて、
それをやります。

―行吉哉女「敬と愛ひたすらの道」より



「この絵を描いた人は？」
哉女先生のこの一言が
神女との長いご縁の
はじまりでした。

神戸女子短期大学 かなめ会 会長

羽多悦子



ハワイセミナーハウスで哉女先生を囲んで

家族の反対により芸大受験を諦めた時、高校の先生に「NDK日本デザイン協会会員の行吉哉女先生の学校だから」と勧められたのが神戸女子短期大学服装科でした。「この絵を描いた人は？」——卒業間際に美術の授業で描いた抽象画が哉女先生の目に留まり、「うちにいなさい」と助手の道を拓いていただきました。7年後に武蔵野美術大学短期大学部に進む際には辞表を提出しましたが「武蔵美で学びながら籍はうちに置けばいいですよ」とのお言葉をいただき、教育・研究と作家活動を両立させることができました。後にライフワークの「こどもの教育」を社会政策として考えるために関西学院大学大学院で学びましたが、50代半ばでの挑戦は何事にも全力で打ち込まれた哉女先生の影響があると感じています。幼児教育学科教授を退職するまでの半世紀を神女で過ごし、多くの教え子を送り出してきました。神女生に共通するのは、勤勉さと純粋さ。今、80周年を一緒に迎えられることを幸せに感じています。



後輩たちへ
道をつけるために
いつも「神女出身」を
意識しています。

神戸女子大学 青山会 会長

山脇喜子



家政学部生時代、須磨キャンパスで。調理系のゼミに所属していました。

神戸の女子大に憧れて入学した神女。須磨の浜辺で友人と悩みや将来を語り合った日々が、今懐かしく思い出されます。子育てが一段落し、高校家庭科の非常勤講師として社会復帰した際に、「前任者が神戸女子大学出身の方だったので、あなたも同じなら安心です」との言葉をかけられました。先輩に感謝するとともに責任を感じたことを覚えています。その後単位制高校で社会福祉を担当したことをきっかけに本格的に手話を学び、手話通訳者として芦屋市役所に勤めることになりました。この新しい職場で出会ったのが当時青山会副会長をされていた春木和子さんです。「あなたも神女出身なの？」とすぐに打ち解け、同窓会のお手伝いをする機会をいただき、現在会長をさせていただいています。人生の節目ごとに神女の先輩に導いていただく経験をして、次は自分自身が後輩に道をつける番だと感じています。在学中に哉女先生に教わった「自分で考える」姿勢を忘れずに歩んでいきたいです。

ポートアイランドキャンパス



神女に通う
姉の姿に憧れて。

先生との距離が
とても近いです。

神戸女子大学 学友会 会長

鈴木涼夏

健康福祉学部社会福祉学科 2年生

神戸女子短期大学 学友会 会長

森 優葵

食物栄養学科 2年

神戸女子大学文学部に在籍していた姉が「神女って良いよ」と学生生活を楽しんでる姿を見て、自然と神女で学びたいと思うようになりました。料理好きの母の影響で短期大学の食物栄養学科に進学。神女生はオンとオフの切り替えがうまく、学ぶ時も遊ぶ時も全力です。家政学部にも編入学して管理栄養士をめざすことも考えましたが、学ぶうちに早く仕事に就きたくなり、委託給食の会社に就職予定です。目標は実務経験を積んで管理栄養士の資格を取得すること。病院で患者さんに栄養指導をしたり、食の面から家族を支えられる女性をめざしています。

神女の魅力は、先生の存在がとても近く、温かなところです。授業中に質問しやすいだけでなく、課題の進捗状況に応じて助言いただいたり、学生生活の相談にも応じてくださいます。高齢者福祉に興味を持って入学しましたが、今では知的障がい者の支援にも関心を持っています。きっかけは、先生から紹介していただいたガイドヘルパーのアルバイトです。知的障がい者の方の買い物などをお手伝いする「移動支援」を経験し、視野が広がりました。将来は、福祉業界で「鈴木さんだから」と仕事を頼まれる人になりたいです。

須磨キャンパス



素直で真面目な
友人と出会えました。

神戸女子大学 学友会 会長

小嶋怜亜

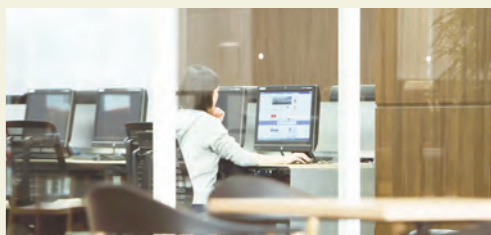
文学部英語英米文学科 3年生

父の転勤により神戸で暮らすことに。阪神間の大学で進学先を考えた時の条件が「附属高校がないこと」「関西出身者だけでなく地方出身者も多く在籍していること」でした。この条件を満たしてくれたのが神戸女子大学です。実際に素直な人が多く、四国や九州からの学生もたくさんいて、入学前の不安はすぐに消え、安心したことを覚えています。
緑に囲まれた須磨キャンパスは、真面目な神女生にふさわしい落ち着いた雰囲気で大好きです。中でも学友会室は、熱い思い出の詰まった場所。2019年の学園祭実行委員長として、20名の委員とともに学園祭成功の達成感を分かちあいました。また、図書館から見える明石海峡大橋は、自習の疲れを癒してくれるお気に入りの風景です。
将来は英語を活かして航空関係や多国籍企業で活躍したいと思っています。ハワイ大学への海外研修では、リスニングに手応えを感じた一方で、スピーキングとリーディングの上達が課題だと気づくことができました。今後も努力を重ね、強くて「自分」を持った女性に成長していきたいです。

教育理念

建学の精神

本学園の教育は、
民主的で文化的な国家を建設して、
世界の平和と人類の福祉に
貢献しようとする
有為な女性を育成するにある。
そのためには、人格の完成をめざし、
平和的な国家および社会の形成者として、
真理と正義を愛し、
個人の価値をたつとび、
勤労と責任を重んじ、
自主的精神に充ちた心身ともに健康な
国民の育成に力をつくすにある。



教育綱領

学術の研究を通して、
人生社会に対する広い視野と深い洞察を身につけ、
識見高く、心情豊かな女性を育てる。
個性の伸長をはかり、
社会に貢献しうる人材を育てる。
勤労を愛し、義務と責任を重んじ、
自律的に行動する態度を養う。
宗教的情操を培い、謙虚にして、愛情深く、
よく苦難に耐え、常に信念に生きる女性を育てる。
明朗にして礼節あり、
健康にして柔軟な心身の持ち主となり、
よく世代を導きうる女性を育てる。

神女のデータ

神女のデータ

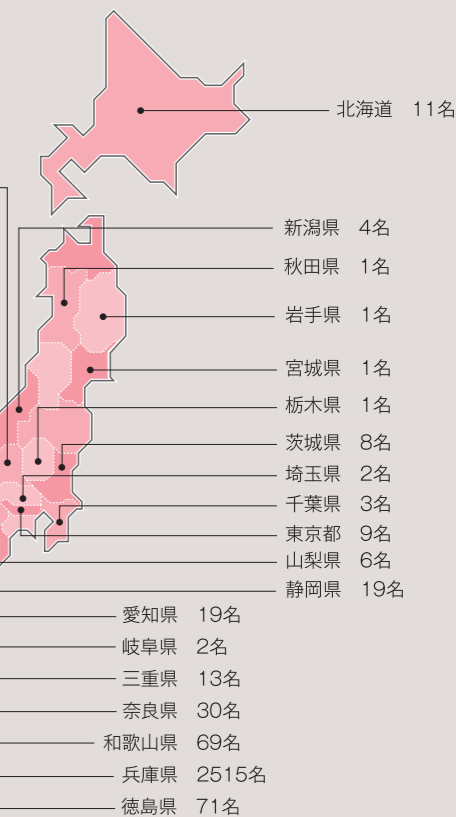
1

学部学科定員

学部学科	入学定員
文学部	日本語日本文学科 60
	英語英米文学科 60
	国際教養学科 40
	史学科 60
	教育学科 165
家政学部	家政学科 80
	管理栄養士養成課程 150
健康福祉学部	社会福祉学科 80
	健康スポーツ栄養学科 80
看護学部	看護学科 90
合計	865

短期大学

学科	入学定員
総合生活学科	120
食物栄養学科	120
幼児教育学科	100
合計	340



2 資格取得

文学部 国際教養学科

大学

文学部 日本語日本文学科
中学校教諭一種免許状(国語)／高等学校教諭一種免許状(国語)／日本語教員／図書館司書／学校図書館司書教諭

文学部 英語英米文学科
中学校教諭一種免許状(英語)／高等学校教諭一種免許状(英語)／日本語教員／図書館司書／学校図書館司書教諭

文学部 国際教養学科
中学校教諭一種免許状(英語)(社会)／高等学校教諭一種免許状(英語)／日本語教員／図書館司書／学校図書館司書教諭／国際ボランティア実務士

文学部 史学科
中学校教諭一種免許状(社会)／高等学校教諭一種免許状(地理歴史)／日本語教員／図書館司書／学校図書館司書教諭／博物館学芸員

文学部 教育学科
幼稚園教諭一種免許状／小学校教諭一種免許状／中学校教諭一種免許状(英語)／保育士／日本語教員／図書館司書／学校図書館司書教諭／認定心理士

家政学部 家政学科
中学校教諭一種免許状(家庭)／高等学校教諭一種免許状(家庭)／日本語教員／図書館司書／学校図書館司書教諭／社会調査士／商業施設士補

家政学部 管理栄養士養成課程
中学校教諭一種免許状(家庭)／高等学校教諭一種免許状(家庭)／栄養教諭一種免許状／管理栄養士／栄養士／フードスペシャリスト／専門フードスペシャリスト／食品衛生管理者／食品衛生監視員

健康福祉学部 社会福祉学科
社会福祉士／精神保健福祉士／介護福祉士／社会福祉主事／児童指導員

健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科
中学校教諭一種免許状(保健体育)／高等学校教諭一種免許状(保健体育)／栄養教諭二種免許状／栄養士／健康運動実践指導者／実践健康教育士／スポーツ栄養アドバイザー／管理栄養士(実務経験1年以上)

看護学部 看護学科
看護師／保健師／助産師／受胎調節実地指導員／養護教諭一種免許状

短期大学

総合生活学科
二級建築士受験資格(実務経験2年)／木造建築士受験資格(実務経験2年)／フードスペシャリスト／専門フードスペシャリスト／フードコーディネーター(3級)／秘書士／プレゼンテーション実務士／プライダプランナー

食物栄養学科
栄養士／食品衛生責任者／社会福祉主事／管理栄養士(実務経験3年以上)

幼児教育学科
幼稚園教諭二種免許状／保育士

3 都道府県別 学生数

合計 4,063名
2020年5月現在(編入生除く)

4 国際交流

神女から世界へ。より広い視野を求めて。

1981(昭和56)年にハワイ大学への最初の海外研修が実施され、文学部英文学専攻の学生12名が参加しました。2007(平成19)年には英語英米文学科のセメスター留学が開始。2020(令和2)年3月までにハワイ大学で学んだ学生は累計2971名を数えます。2010年(平成22)年に発足以来、国際交流推進部は国際交流推進事務局と連携し、本学の国際交流の発展をめざし活動しています。現在では、派遣先は世界9の国と地域、14大学へ、プログラム内容も語学研修のみならず、ボランティア活動、福祉、栄養分野へと広がっています。2019(平成31)年度の海外研修参加者数は、164名にのぼります。

世界から神女へ。深まる知の絆。

中国の華南師範大学と初めて交換留学を実施し、2000(平成12)年に2名の留学生を日本語学科で受け入れました。2019(平成31)年には、国際教養学科で台湾・静宜大学より2名の交換留学生受け入れを開始。その他、イギリス・インドネシアなどからも留学生や研究者を受け入れ、国境を超えた知の交流を進めています。

国際交流のサポートを担う 国際交流推進事務局



海外研修や留学の支援のために、専門スタッフが常駐する相談窓口を設けています。渡航前のオリエンテーションや留学経験者との懇談会なども開催。提携大学先の学生と神女生とのオンライン交流もコーディネートしています。

文学・医学・福祉と幅広く交流 ウダヤナ大学



バリ島唯一の国立大学で、2001年より研究交流がありましたが、2010年に学術交流協定を正式に締結。本学の文学部・健康福祉学部で留学生や研究者を受け入れています。今後はウダヤナ大学にも栄養学の研修生を派遣する予定です。

神女生のための専用施設 ハワイ・セミナーハウス



ハワイ大学研修期間中の滞在施設で、ハワイ大学へバスで5分という抜群の交通アクセス。ハワイ事情に精通した専任の寮監が常駐しているため、体調不良など、万一の時でも安心です。ハワイ大学での1ヶ月研修生、セメスター留学生、そしてクアキニ病院実習生と年間を通して学生が利用しています。

国際交流のあゆみ



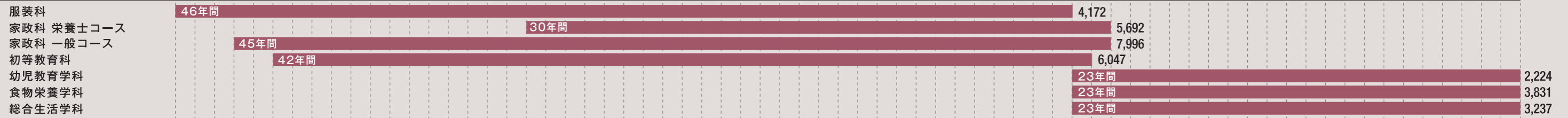
海外からの留学生・研究者受け入れ(2019年度)

留学生	短期研修	研究者
日本語日本文学科 華南師範大学 2名	英語英米文学科 ケント大学学生 1名	ウダヤナ大学医学部講師/社会福祉学科 1名 (ひょうご震災記念21世紀研究機構HORN研究者交流事業)
ウダヤナ大学 1名	健康スポーツ栄養学科 ウダヤナ大学医学部 4名	ウダヤナ大学医学部講師/社会福祉学科 1名 (日本・アジア青少年サイエンス交流事業・さくらサイエンスプラン)
研修生(後期) 1名	社会福祉学科 ウダヤナ大学医学部 5名 (日本・アジア青少年サイエンス交流事業・さくらサイエンスプラン)	
国際教養学科 静宜大学 2名		

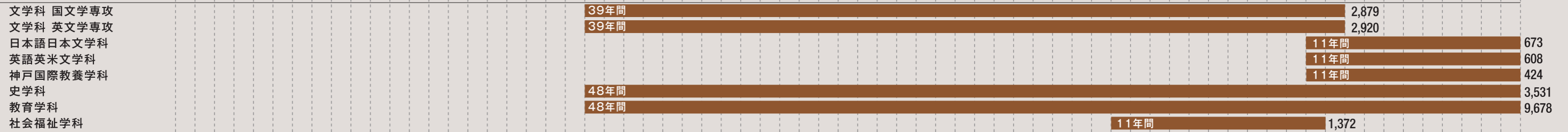
卒業生数

S26 S27 S28 S29 S30 S31 S32 S33 S34 S35 S36 S37 S38 S39 S40 S41 S42 S43 S44 S45 S46 S47 S48 S49 S50 S51 S52 S53 S54 S55 S56 S57 S58 S59 S60 S61 S62 S63 H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1

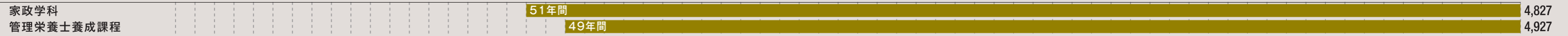
神戸女子短期大学／卒業生33,199名(昭和26年～現在)



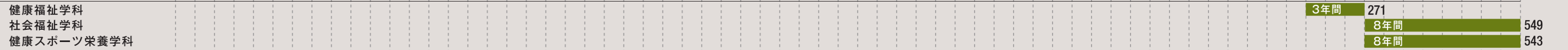
神戸女子大学 文学部／卒業生22,085名(昭和47年～現在)



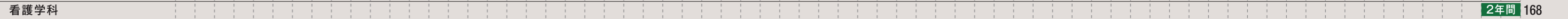
神戸女子大学 家政学部／卒業生9,754名(昭和44年～現在)



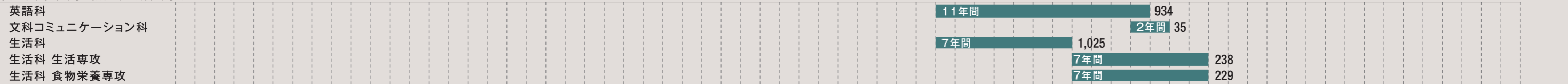
神戸女子大学 健康福祉学部／卒業生1,363名(平成24年～現在)



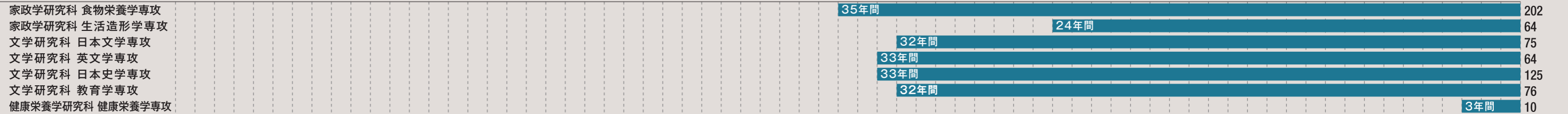
神戸女子大学 看護学部／卒業生168名(平成30年～現在)



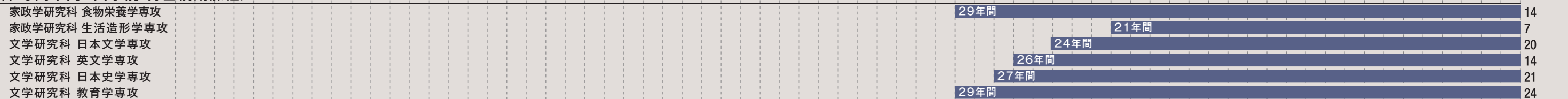
神戸女子大学瀬戸短期大学／卒業生2,461名(平成2年～現在)



神戸女子大学 大学院 博士前期課程／卒業生616名(昭和60年～現在)



神戸女子大学 大学院 博士後期課程／卒業生100名(平成3年～現在)



神戸女子大学附属 高倉台幼稚園／卒業生4,504名(昭和48年～現在)





神戸市立須磨離宮公園 園長

安田 東平

神戸市職員として神戸各地のさまざまな部署で市政に携わる。2019年に須磨離宮公園園長に就任。

より強い
パートナーシップを
これからも。

**神女生の皆さんは
真面目で積極的。**

昨年、神戸女子大学の林ゼミの皆さんが、当園のはちみつ「Rikyū Honey」を使ったランチメニューを開発してくださいました。その記者発表をゼミ生の皆さんとともに神戸市役所で行ったのですが、彼女たちの対応力には驚かされました。居並ぶ記者の方々からの質問に物怖じすることなく的確に答え、養蜂事業に取り組む須

磨離宮公園の新しい魅力をうまく伝えてくれたからです。PR用のポスターやチラシのデザインもセンスが良く、就職活動などで時間がないうちで私たちにスケジュールを合わせてくれたこと、何事にも一生懸命な姿に関心しました。

その他のイベントでも顔を合わせることがありますが、いつも真面目で積極的です。きっと社会人になっても大いに活躍されることと思います。

**市民の方々にも
広く支持されて。**

神戸女子大学の開学が1966(昭和41)年で、当園の開園がその翌年です。須磨の地で歩んできた両者が、2006(平成18)年のキャンパス・パーク連携締結以来、ともに地域活性をめざしたことで、最近では市民の方々への広がりを実感しています。須磨の歴史や文化にちなんだ連携事業など、新たな取り組みにもともに踏み出していきたく願っています。

地域との連携

**地域の課題解決に
つながる取り組みで
笑顔あふれる
社会の創造へ。**

須磨キャンパスの地元である須磨区、そしてポートアイランドキャンパスのある中央区において、子育て支援・高齢者支援・子どもの学習支援など、地域の課題解決に向けた取り組みを行っています。

2006(平成18)年には隣接する神戸市立須磨離宮公園との「キャンパス・パーク連携(CP連携)協定」を締結し、1年を通じてイベントボランティアなどを行ってきましたが、特に近年では社会に向けて発信力の高い試みを積極的にを行い、そのパートナーシップはさらに強まっています。

学生にとっては地域社会と自らの専門分野を結びつける貴重な実践の機会となっています。

**須磨離宮公園のはちみつを使って
園内レストランのランチメニューを開発**

須磨離宮公園は養蜂事業「Doo Dooプロジェクト」を2019年よりスタートさせています。家政学部管理栄養士養成課程の林利恵子准教授のゼミ生は、採取されたはちみつ「Rikyū Honey」を使って園内のレストラン「ガーデンバタジエ須磨離宮」のランチメニューを開発する「SUMAxBEESHINOJ」に須磨区とともに参加しました。

試作を重ねた結果、「淡路鶏のロズマクエイクンテーぶどうソース仕立て」が完成。2019年10月に期間限定特別ランチとして販売されました。開発過程で考案されたメニュー8品もレシビカードとして部数限定で配付されました。



**子どもたちと楽しい時間を
手作り体験やお話のプレゼント**

文学部教育学科の学生が、須磨離宮公園でさまざまな体験型のイベントを企画・運営しています。

2019年10月26日、大西ゼミの学生が「カラフルロープを作ろう」を開催し、子どもと色布を編みました。また、12月8日の「こうべガーデンカフェ2019」では、園内の植物の蔓を使った「クリスマスリースを作ろう」を開催し、大盛況となりました。12月1日には久野ゼミ・小林ゼミ・隠岐ゼミの学生が「離宮でクリスマス〜お話のプレゼント〜」を開催し、絵本の読み聞かせ・紙芝居・ベル演奏などを行いました。市民とふれあいを通じた保育実践の場となっています。



**持続可能社会へ向けて
蜜蝋ラップづくりに挑戦**

家政学部家政学科・大森ゼミの学生が、須磨離宮公園の養蜂事業「Doo Dooプロジェクト」と共同し、2020年8月に蜜蝋ラップづくりに挑戦しました。

溶かした蜂の巣を布で濾し、冷やし固めて蜜蝋を作製。布の上下に蜜蝋を置き、オーブンシートごとにアイロンがけすることで、蜜蝋にコーティングされた。何度でも使える。蜜蝋ラップが完成しました。実習後は「播州織のオーガニックコットンで商品化しては？」など、使い捨てのライフスタイルから持続可能な社会をめざすための意見交換も活発に行われました。



◆ その他の実績 (一部抜粋)

**落書き再発防止をめざす
「壁画制作プロジェクト」**

須磨キャンパスに隣接する神戸市立高倉中学校の通路にあるトンネルに残された心ない落書きの再発防止をめざし、同中学校長が2018年に発足させたプロジェクトです。神戸女子大学のイラスト部と美術部の学生が、同中学の生徒によるデザイン画に基づき、技術面の協力や小中学生の指導を担当。トンネル内にスプレーアートが誕生しました。

**高齢者の引きこもり対策
「高倉台ふれあい給食」**

NPO法人輝たかくら台と神戸女子大学プロジェクトコスモスとの協働で2005年にスタートした取り組みです。須磨キャンパス近隣の高齢者をお招きし、給食の提供とレクリエーションを行うことで、引きこもり予防と健康づくりをサポートしています。

**子育て支援活動
「親子保育くじらくらぶ」**

ポートアイランドキャンパスで、地域の親子に向けた子育て支援活動を、2008年から月1回をベースに年間11回程度開催しています。2019年度は、ポティベインティング・クッキー作り・書き初めなどのイベントや人形劇団クラルテをお招きしての人形劇披露などを開催。地域の恒例行事となっています。

**子どもの学習支援
「算数・数学クリニック」**

2006年度より須磨キャンパス周辺地域で算数・数学の学習につまづいている子どもたちの学習支援を行っています。2019年度は、文学部教育学科の穴田准教授と穴田ゼミの学生8名が毎週水曜日の午後3時から7時半まで計28回を開催し、のべ2300名以上の子どもが参加しました。

社会との連携

企業や自治体と 協働することで 新たな商品や サービスを 市民のもとへ。

大学の知の成果を市民の皆さんへ——そんな思いから市民公開講座やオープンカレッジを開講したのが神戸女子大学の社会連携のはじまりでした。

現在では、神戸ゆかりの企業をはじめ、多種多様な業界の企業と協働で新商品を開発したり、新たなサービスの提案を行ったりするなど、神戸女子大学ならではの学びを活かした新たな価値創造をめざしています。また、神戸女子大学の立地する神戸市がより暮らしやすい町となるように、自治体と連携したボランティア活動や啓発活動にも取り組んでいます。今後もさらに多様な産官学連携を実現していく予定です。

洋菓子専門店ハイジと レンズ豆を使った 低糖質の焼き菓子を共同開発

2018年には、全国にファンを持つ神戸の洋菓子店ハイジと家政学部管理栄養士養成課程・木村万里子准教授の研究室の学生が、レンズ豆を使った焼き菓子を共同開発しました。

ハイジは木村研究室の豆類に関する研究に注目し「おいしくヘルシーなお菓子を一緒に」と要請。コスト管理やマーケティングを学んだ上で、原材料に食物繊維・鉄分・老化予防に関わりの深いセレンの豊富なレンズ豆が採用されました。血糖値を気にする人のために糖質の15%を消化吸収の穏やかなパチノースに置き換えて、サクほろ食感が特徴的な焼き菓子・ブルドネージュが完成しました。パッケージの表示やサイズにもこだわり、いちご味とブレイン味の2種がハイジの苦楽園店・JR神戸駅店で販売されました。



江崎グリコアシックスと 「健康共創プロジェクト」に参画

大学院健康栄養学研究所と健康福祉学部健康スポーツ栄養学科は、食事と健康の両面から「おいしくて健康」な生活の定着をめざす「健康共創プロジェクト」に、江崎グリコ株式会社・株式会社アシックスとともに参画しました。

2019年9月から2カ月間にわたり、大学院生と学部生の合計16名が運動プログラムと食事プログラムを体験しました。運動する習慣を身につけ、糖質コントロールの食事や低糖質料理について学んだ上で、日常生活で実践しました。このプロセスを通して、トレーニングと食事の記録ができるシールを考案。健康への意識を高めるために、このシールを広く市民に配付する方法を検討し、今後実行していく予定です。



神戸市・味の素と連携し 「朝食ラブ（あさくらぶ）」に協力

家政学部管理栄養士養成課程・短期大学食物栄養学科の学生が、他大学の学生とともに、神戸市・味の素株式会社と産官学連携事業の「朝食ラブ」に協力しました。

このプロジェクトは、朝食を食べることを好きになるための取り組みです。日本の朝食欠食率は高く、中でも最も高いのが学生と同世代である20代です。その最大の原因が「時間がない」ことであるため、簡単に作れるレシピ開発に挑戦。包丁を使わないレシピ13品のレシピブック掲載が決定しました。レシピブックは大手スーパーや量販店で2020年春より無料配付されています。



毎早朝に参詣した 哉女先生の「祈り」。

短期大学では講師として道徳を、文学部では史学科教授として民俗学を担当し、また現在に至るまで名誉教授を務めている神戸女子大学とは長年にわたるおつきあひがあります。

80周年を迎えられた今、振り返って一番に思い出すのは、ある早朝の出来事です。午前5時に、私が生田神社の参籠で清掃をしておりますと、拝殿の石段の下で履物を脱ぎ、冷たい石畳に正座し、ひれ伏す行吉哉女先生の姿がありました。驚く私に「氏神様、ご先祖様に感謝を奉げるとともに、世界平和と日本の安泰、行吉学園の学生の健康と無事、教育を全うできることを神様に祈りしているのです」と答えられました。

暑い日も寒い日も毎日欠かさずお参りされていたこともこの時初めて知り、哉女先生への尊敬の念が益したことを覚えていています。



生田神社 名誉宮司
神戸女子大学名誉教授

加藤 隆久

1984(昭和59)年より1999(平成11)年まで神戸女子大学文学部教授、2018(平成30)年まで神戸女子大学理事を歴任。神社本庁長老。神戸芸術文化会議議長。号は白鳳。



宮司として垣間見た 行吉哉女先生の姿。

これからも さらなる歩みを。

70周年の記念行事では日本文学者のドナルド・キーン氏を迎え、パネルディスカッションを催した際にはコーディネーターを務めさせていただきました。

きました。また、昨年には古典芸能研究センターの所蔵品が国立能楽堂の特別展に出品されたこと知り、うれしく感じています。女子教育の場、そして研究機関として、ますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

◆その他の実績（一部抜粋）

公開市民講座

1981年の須磨キャンパスでの第1回開催以来、2019年で38回を数えます。市民の方々の人生をより豊かにするテーマを設定し、2014年度からはポーターアイランドキャンパスで秋季講座もスタート。春季・秋季で毎年計10回程度の無料講座を開催しています。

オープンカレッジの開講

神戸女子大学教育センター三宮キャンパスで、地域の人々を対象とした講座を開講しています。語学・歴史・教養・健康・古典芸能など多岐にわたり、シニア世代を対象とした有料の講座や特別企画なども開催しています。

ポーターアイランドクリーン作戦

健康福祉学部社会福祉学科1年生全員と神戸女子短期大学の有志の学生が、2019年11月14日に神戸マラソン開催前のポーターアイランドクリーン作戦に参加しました。前年に続き一般社団法人日本自動車連盟JAF兵庫支部の協力で開催され、マラソンコースのゴミ拾いや雑草抜きを行いました。

「神戸まつり」と「神戸マラソン」に協力

2019年の神戸まつりでは社会福祉学科の学生がごみ分別の啓発として「ワケトンダンス」を披露し、会場清掃やアンケート調査を実施。神戸マラソンではゴール直前の沿道整理を行い、須磨では「すまぼうし」と一緒にランナーに声援を送りました。

コープこうべと共同開発したパンを販売

神戸女子大学のクラブ「パン研究会」の学生が、生活協同組合コープこうべの「神戸メロンパンご当地フード化計画」に協力して「神戸ハイカラキャロットチーズメロンパン」を開発しました。学内で販売したところ瞬く間に完売し、2018年4月6日にコープこうべ全161店舗で発売されました。

キャンパス紹介

須磨キャンパス

日本の歴史と文化が息づき
須磨の海を望む自然豊かな環境です。



附属キャンパス施設



神戸女子大学附属
高倉台幼稚園



ハワイ・セミナーハウス



神戸女子大学同窓会
青山会館

ポートアイランド キャンパス

神戸三宮からポートライナーで。
都心部にあり抜群のアクセスです。



三宮キャンパス

三宮の中心、行吉学園発祥の地にあるキャンパスです。



社会福祉法人
神女きずな会
神女中山手保育園



神戸女子大学
教育センター



古典芸能
研究センター



行吉学園記念館

文化の継承と保全

神戸女子大学 古典芸能研究センター



令和元年度国立能楽堂特別展

神戸女子大学古典芸能研究センター・神戸女子
大学図書館所蔵「能狂言絵コレクション」開催
令和元年11月6日(水)～令和2年1月17日(金)



特殊コレクション

【中世芸能資料】

橋文庫／大阪能楽観賞会事務局 故橋豊秋氏と同観賞会旧蔵の書籍
(洋装本・雑誌ほか)

吉田文庫／近江長浜の旧家 吉田家旧蔵の能楽関係の書

檜書店旧蔵謡本版木／謡本の専門店 檜書店旧蔵の謡本版木

伊藤正義文庫／初代古典芸能研究センター長 故伊藤正義本学名誉教授旧蔵の能
楽・中世文学と周縁領域の書籍(和書・洋装本・雑誌ほか)と資料

【近世芸能資料】

かしら文庫／人形能楽史研究所 加納克己氏収集の各地の人形浄瑠璃やかし
らに関する資料

志水文庫／故信多純一本学名誉教授旧蔵の近世演劇・近世文学と周縁領域の書籍
(和書・洋装本・雑誌ほか)と資料および神道仏教版画

【民俗芸能資料】

喜多文庫民俗芸能資料／民俗芸能研究家 故喜多慶治氏による調査資料(写真・ノートほか)
沖縄祭祀資料／沖縄祭祀研究会による調査記録写真

- 1 神戸女子大学古典芸能センター研究資料2「絵入謡本と能狂言絵」(思文閣出版、2018年)
- 2 同3「新作浄瑠りめをと山賊一食満南北遺稿集」(和泉書院、2020年)



古典芸能・民俗芸能と沖縄祭祀に関する
日本屈指のアーカイブ。

古典芸能研究センターは、
古典芸能に関する調査・研究
と社会への学的貢献のために、
2001(平成13)年に行吉学
園発祥の地である三宮キャン
パスに開設されました。

中世芸能(能・狂言)、近世
芸能(浄瑠璃・歌舞伎)、民俗
芸能や沖縄祭祀に関する資料
を幅広く収集して公開すると
ともに、展示をはじめ、公開研
究会や特別講座の開催、紀要
や書籍の刊行によって、研究成
果の発信を行っています。



2019(令和元)年には、国
立能楽堂特別展として神戸女
子大学 古典芸能研究センター・
神戸女子大学図書館所蔵「能
狂言絵コレクション」が開催さ
れ、本学所蔵の能狂言に関する
絵画資料12点を研究成果とも
に公開して好評を博しました。

MESSAGE 3

関西の能楽研究所

関西にも能楽研究所が必要
だーこれは古典芸能研究セン
ターの初代センター長だった
伊藤正義先生が折りにふれ口
にしていた言葉で、能楽研究所
というのは法政大学能楽研究
所のこと。昭和27年に野上豊一
郎旧蔵の能楽資料をもとに出
発した同研究所は、爾後、資料
の収集に努めた結果、筆者がこ
の言葉をはじめて聞いた頃
は、すでに能楽研究のメッカ
だった。

橋文庫を中心にした能楽資料
室に始まり、伊藤正義文庫が加
わった古典芸能研究センターは、
いままさに伊藤先生の悲願に近
づきつつあると言えよう。



京都芸術大学
舞台芸術研究センター所長
大阪大学名誉教授

天野 文雄

現在、代々のセンター長・スタッ
フの努力の結果、近世芸能の志水
文庫、民俗芸能の喜多文庫などを
加えて、能楽はもとより、関西の古
典芸能研究のメッカになろうとあ
ります。



学校法人 行吉学園
理事長
行吉 宜孝

学校法人行吉学園は、2020年11月に創立80周年を迎えます。
ここまで学園をお支えいただいた学園内外の関係者の皆様から感謝申し上げます。
1940年に生徒7人から出発した学園は、学生一人ひとりに丁寧な教育を行うことで着実に発展してきました。直近の10年の間にも、看護学部、健康

数々の難局を越えてきた
学園の次なる歩みに
ご期待ください。

栄養学研究科及び看護学研究科を増設し、現在では、神戸女子大学4学部10学科、神戸女子大学大学院4研究科8専攻、神戸女子短期大学3学科、神戸女子大学附属高倉台幼稚園を合わせ、総収容定員約4500人の規模となっています。

しかしながら、ここに至るまでには、1945年の神戸大空襲による校舎全焼、1995年の阪神淡路大震災の被災など、多くの苦難も経験してきました。今も、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの学生が学業の継続、新たな授業形態、就職環境などに不安を抱く厳しい状況になっていますが、過去の困難を克服したときと同様に、教職員が力を合わせて学生を支え、この難局を乗り越えていく所存です。

そして、この難局の先に、学園

は次の歩みを見据えています。情報機器の進化と普及により、SNSなどのメディアを介した情報の交流が、人と人、人と社会の繋がりに大きな影響を及ぼすようになっていきます。このような環境において、より良い人間関係や社会を創り出すためには、情報化時代のコミュニケーションとともに関わる人間の心理を学んだ人材が必要と考え、これを実現するための新学部を構想中です。2022年4月の設置に向けて、間もなく詳細が発表できると思いますので楽しみにお待ちください。

学園はこれからも学生一人ひとりを大切にして、さらなる発展をめざして参ります。学園関係者の皆様におかれましては、引き続き温かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「教育への情熱」という 学園の良き伝統を これからもずっと。

今、行吉学園は、令和という新時代の中で、目まぐるしく変わる社会と環境をしっかりと見つめながら、新学部・研究科の設置を始め、更なる発展のための新しい取り組みを行っています。そうした中で、私たちは、社会、ご家庭を問わずさまざまな分野でご活躍の卒業生の皆様を、現在の学園で学ぶ

行吉学園80周年を迎えるにあたって、まずはこれまでの間、長きにわたってお世話になっております卒業生・学生の皆様、保証人の皆様、近隣・地域などの関係者の皆様、そして教職員の皆様に厚く御礼申し上げます。また、7万人を悠に超える卒業生の皆様には、母校発展の歴史の中でひとつの区切りとなるこの80周年を心よりお祝い申し上げます。

学生たちの手本とし、本学園80年の伝統をしっかりと守りながら新時代に向けた教育を行っており、今後もそれを真摯に続けてまいります。今般のコロナ禍においては、本学園でも、学生に対する教育の質を決して下げず、取り組んでまいりましたが、その際の教職員の学生一人ひとりに対する思い、そして教育にかける情熱は、手前味噌かもしれませんが、素晴らしいものでした。そして、私自身、これこそが行吉学園80年の伝統であるとあらためて実感した次第です。

こうした事柄のみならず、本学園ならではの教育、すなわち、行吉国晴先生、故女先生が掲げられ、実践された本学園の教育の神髄に繋がる教育を、まずは100周年に向けて、そしてさらに200年、300年と続けていけるように、教職員一同、引き続き努力してまいります。皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたしますとともに、今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。



神戸女子大学
神戸女子短期大学
学長
栗原 伸公